

フロイント産業株式会社

STANDARD

TOKYO

(証券コード6312)

2025年2月期 第3四半期
決算説明資料

2025年1月10日



トピックス

浜松新工場計画の中止について

2024年12月24日に公表した通り、当社浜松事業所における医薬品添加剤の新工場建設計画を中止。

計画中止の理由

- 当初計画では、約59億円の投資金額（うち約17億円は補助金による助成）を見込んでいたが、建設資材・人件費などの高騰により、建設費用が大幅に上回ることが判明したため。

今後の対応

- 当初計画では生産ラインを2つ増設予定であったが、既存工場建屋内にまずは1ライン増設する代替策の検討を開始。早急に生産能力を増強し、引き続き医薬品の安定供給に貢献。

その他

- 今年度第4四半期において、設計費用等を計上予定。金額精査中ではあるが、業績に与える影響は軽微の見込み。
- 本第3四半期決算発表時に公表予定であった「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」は、本計画中止の影響も含めて検討を行うため、今年度通期決算発表時（2025年4月）に延期。

2025年2月期 第3四半期
連結決算概況

連結決算サマリー

国内機械事業の好調を主な要因として前年同期比増収、基幹システムの一時費用等を吸収した上で増益。

※通期の売上・利益について、国内は引き続き安定的に計上、海外の売上が大きく見込まれるため業績予想は変更なし。

(単位：百万円)	2024/2月期 第3四半期	2025/2月期 第3四半期	前年比増減		2025/2月期 予想
				%	
売上高	14,170	14,920	749	5.3%	23,500
営業利益	118	336	217	184.0%	1,100
経常利益	125	373	247	197.0%	1,100
親会社株主に帰属する 四半期純利益	54	114	59	110.3%	770
一株純利益 (円)	3.24	6.77	3.53	109.0%	45.76

機械部門：グループ会社別動向（売上・営業利益）

フロイント産業	計画通りに出荷・納品できており、大幅増収・増益。利益率の高いメンテナンス事業の伸びも貢献。
フロイント・ターボ	計画通りに進捗しており、営業利益は増加。
FREUND Inc.	3Qの黒字計上により、累計で赤字幅は縮小。4Qに主要案件が集中しており、通期では概ね計画通り。
FREUND S.r.l.	売上・利益ともに引き続き低迷。顧客側での工場建設遅延などもあり、大型案件の出荷が来年度に期ずれ、通期での黒字化は厳しい状況。

(単位：百万円) グループ会社別は連結調整前	2024/2月期	2025/2月期	前年比増減	
	第3四半期	第3四半期		%
売上高	9,056	9,994	937	10.4%
フロイント産業	2,982	6,046	3,063	102.7%
フロイント・ターボ	1,160	1,095	△64	△5.6%
FREUND Inc.	4,289	2,853	△1,435	△33.5%
FREUND S.r.l.	873	336	△536	△61.5%
営業利益	△76	396	473	—
フロイント産業	72	779	706	969.7%
フロイント・ターボ	35	50	15	43.3%
FREUND Inc.	△139	△117	22	—
FREUND S.r.l.	△56	△379	△323	—

機械部門：グループ会社別動向（受注高・受注残高）

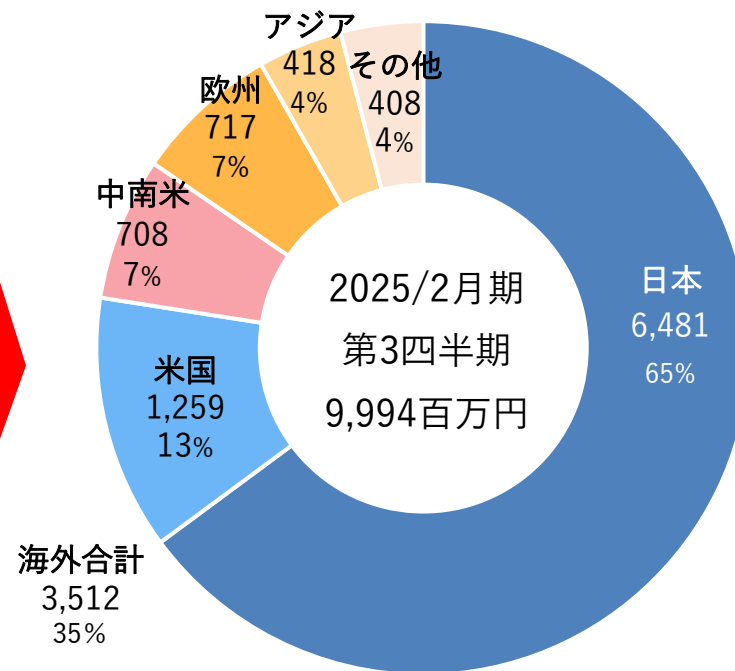
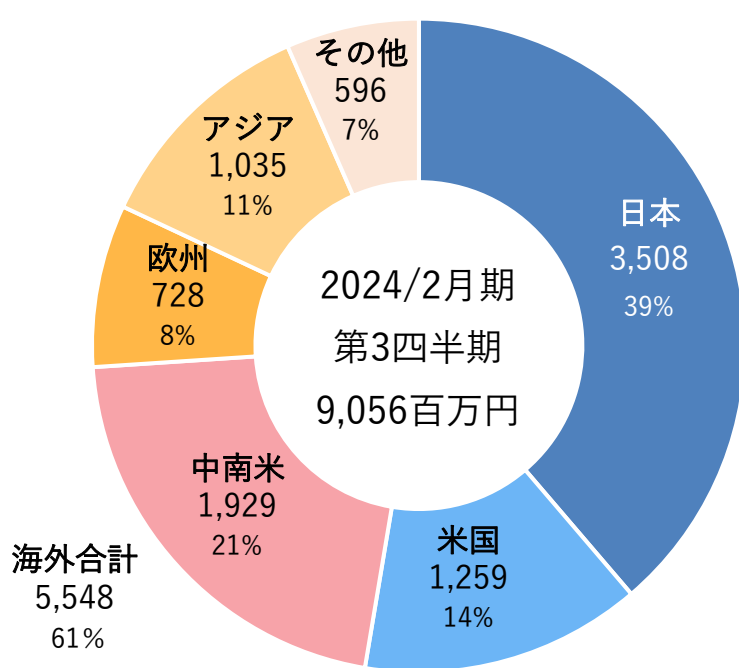
フロイント産業	上期は前年比減だったが、3Qは受注高23億円と前年を上回る。受注残高は高水準を維持。			
フロイント・ターボ	計画通りに推移し、受注高・受注残高ともに前年比増加。			
FREUND Inc.	受注高はアメリカ・中南米を中心に好調に推移し、3Qの受注高は27億円。受注残高も前年比大幅に増加。			
FREUND S.r.l.	受注高・受注残高ともにさらなる積み上げが必要。シナジー効果によるパウダーハンドリング装置の受注が増加。			
(単位：百万円)	2024/2月期 第3四半期	2025/2月期 第3四半期	前年比増減	
				%
受注高	13,747	13,448	△299	△2.2%
フロイント産業	7,775	5,861	△1,914	△24.6%
フロイント・ターボ	919	1,319	400	43.5%
FREUND Inc.	3,903	5,493	1,589	40.7%
FREUND S.r.l.	1,207	773	△434	△36.0%
受注残高	18,012	19,412	1,400	7.8%
フロイント産業	12,803	10,905	△1,897	△14.8%
フロイント・ターボ	738	1,062	323	43.8%
FREUND Inc.	3,085	6,110	3,024	98.0%
FREUND S.r.l.	1,515	1,334	△181	△11.9%

受注残高は
過去最高を記録

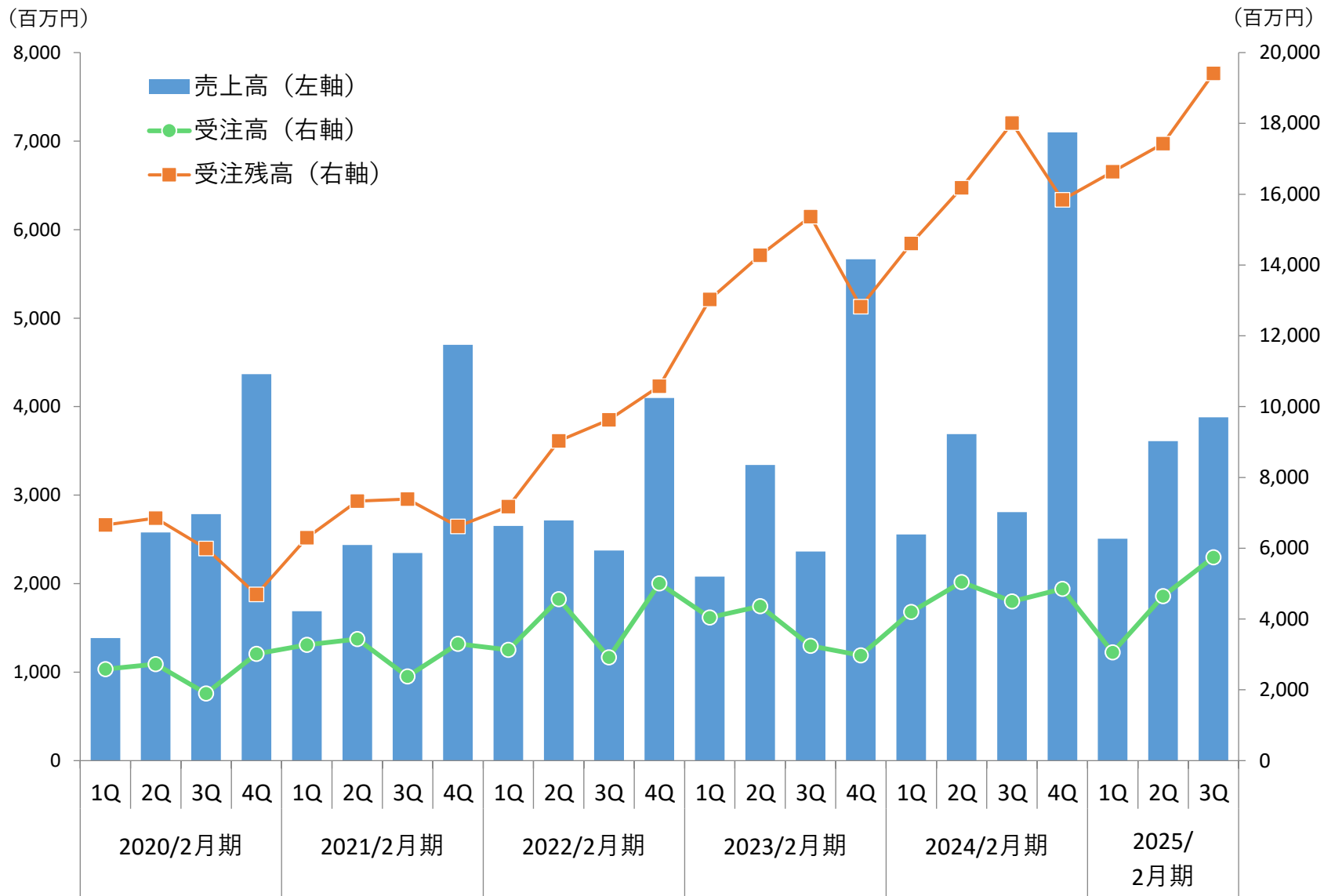
機械部門：地域別売上高

国内 受注案件の着実な出荷により、大きく増収。
期末に向けて順調に積み上げ予定。

海外 アメリカと中南米の主要案件の売上を4Qに計上予定。



機械部門：四半期推移（売上高・受注高・受注残高）



化成品部門：概況

売上高

医薬品添加剤：2Q同様、ユーザーの一部製品の出荷調整があり前年比微減。
通期は概ね前年並の予定。

食品品質保持剤：前年比では減収となったが、計画通りに進捗。

営業利益

新基幹システム更新に伴う一時費用を計上したことに加え、医薬品添加剤の自社製品の割合が減少したため、前年比で減益。

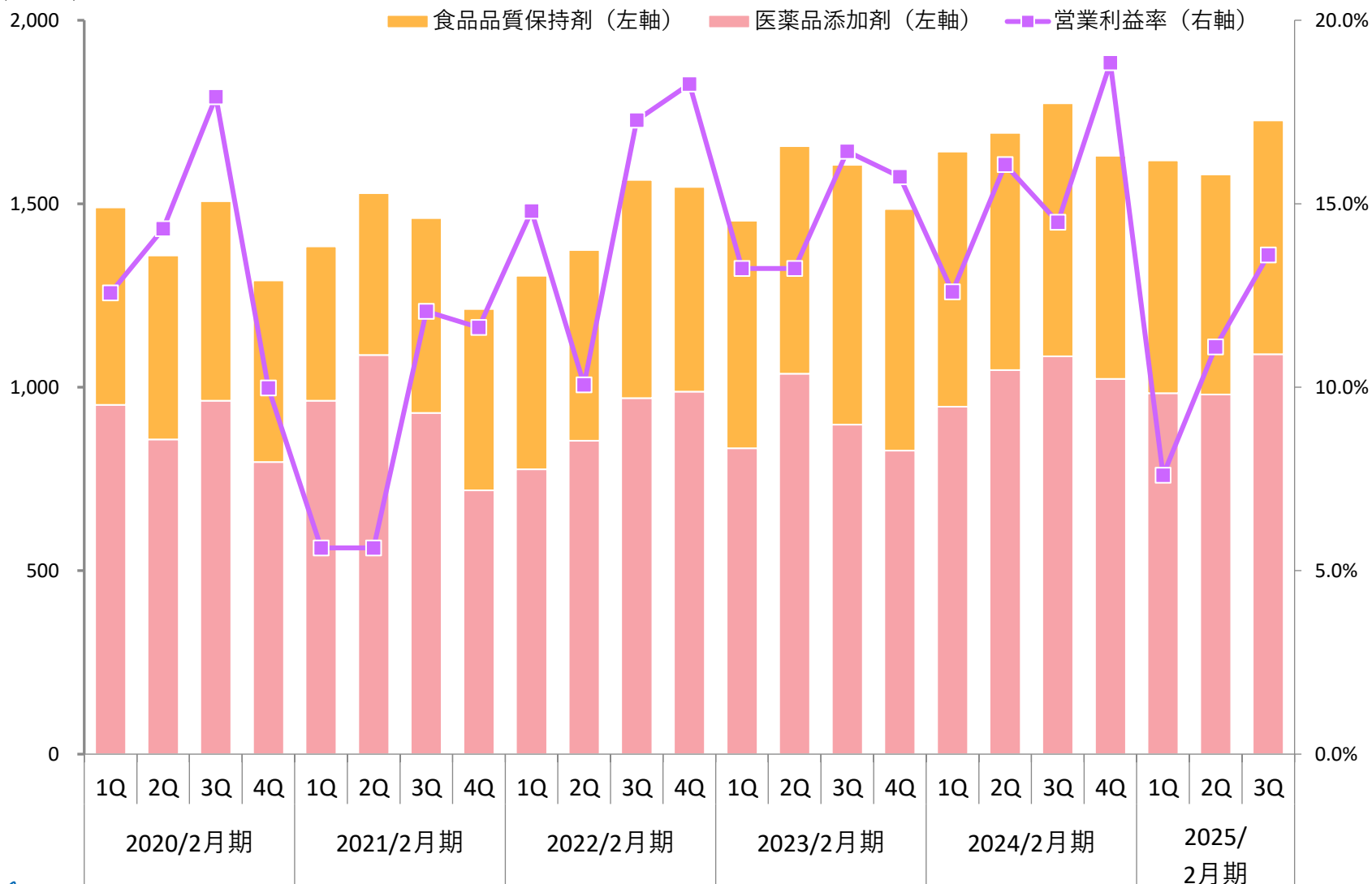
(単位：百万円)	2024/2月期 第3四半期	2025/2月期 第3四半期	前年比増減	
				%
売上高	5,113	4,925	△187	△3.7%
医薬品添加剤	3,081	3,054	△26	△0.9%
食品品質保持剤	2,032	1,871	△161	△7.9%
営業利益	736	547	△189	△25.7%

化成品部門：四半期推移（分野別業績）

【売上高】

【営業利益率】

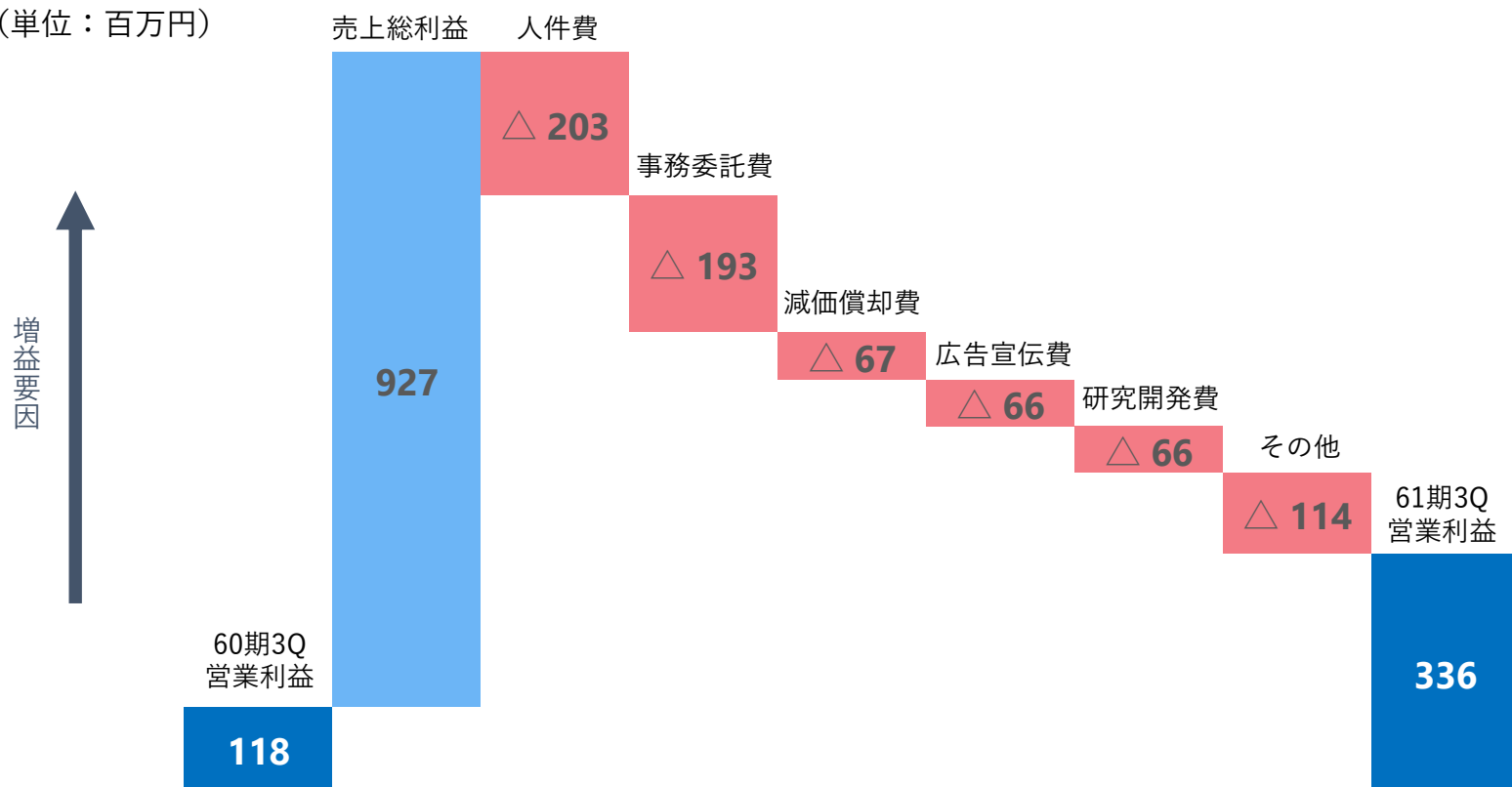
(百万円)



連結営業利益増減分析

- 売上総利益は主に国内機械事業の売上増加に伴い、前年同期比で大幅増加。
- 円安要因（海外子会社経費）、基幹システムの更新に伴う一時費用（事務委託費）および減価償却費、海外展示会への3社共同出展による広告宣伝費、人件費等の増加により、販売管理費は前年同期比約7億円の増加。

(単位：百万円)



連結貸借対照表サマリー

- 米国子会社を中心に4Q出荷に向けて棚卸資産（仕掛品）が増加。
- 自己資本比率は56.6%と高水準を維持。

資産の部

負債・資本の部

(単位：百万円)				(単位：百万円)			
	2024/2月末	2024/11月末	増減額		2024/2月末	2024/11月末	増減額
流動資産	18,537	19,439	901	流動負債	9,920	10,657	737
現金及び預金	4,736	4,326	△ 410	仕入債務	3,881	3,895	14
売上債権	7,058	5,537	△ 1,520	短期借入金	515	560	45
棚卸資産	5,815	8,618	2,802	契約負債	3,932	4,903	971
その他資産	926	956	30	その他負債	1,592	1,297	△ 294
固定資産	7,252	6,824	△ 427	固定負債	845	753	△ 91
				純資産合計	15,023	14,852	△ 171
資産合計	25,789	26,263	474	負債純資産合計	25,789	26,263	474

2025年2月期
連結業績・配当予想

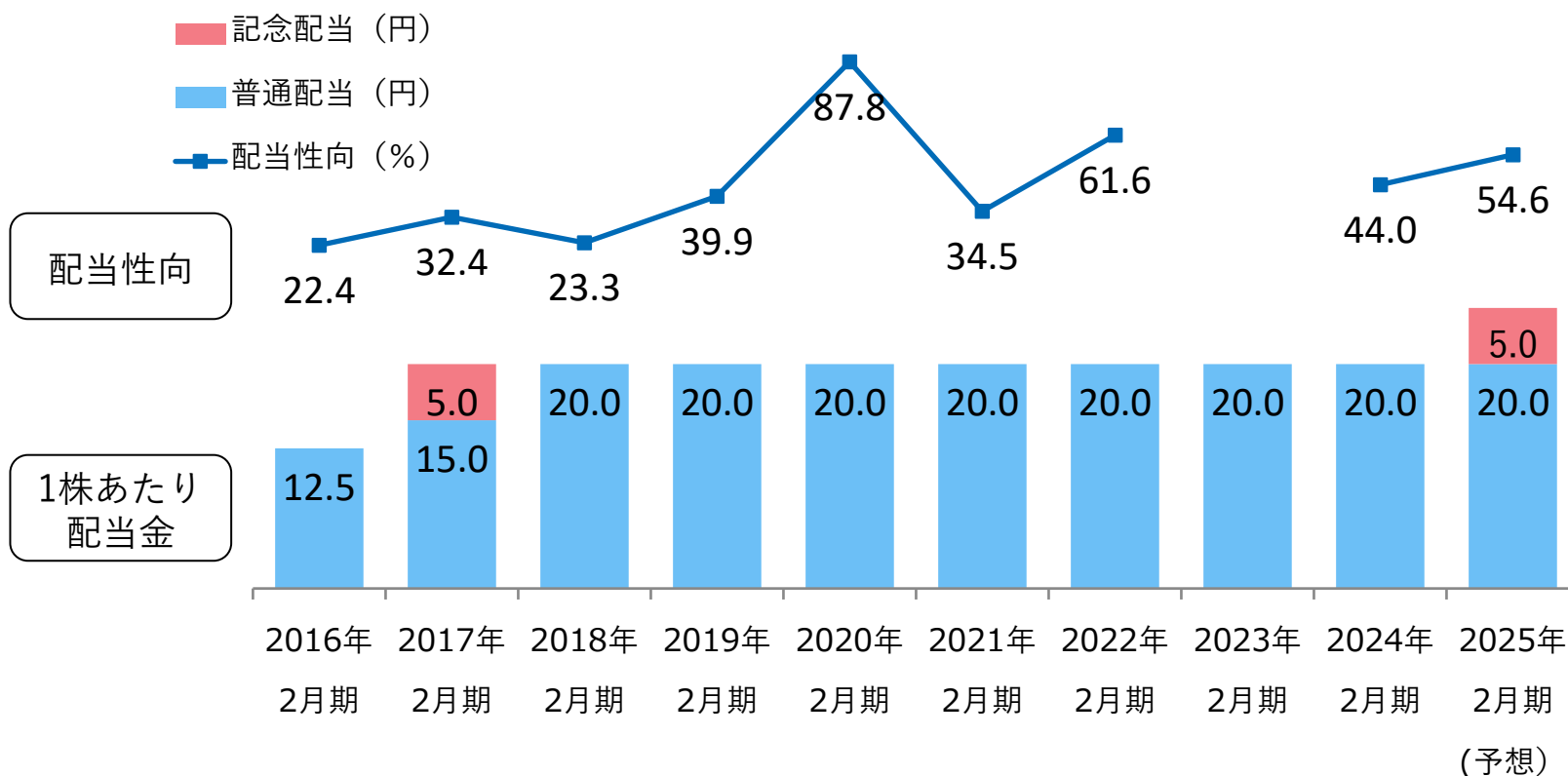
連結業績予想サマリー

- 通期業績予想は期初公表値と変わらず、達成の見込み。
- 国内は機械を中心に堅調に推移、海外機械の主要案件が4Qに集中するため、グループ一丸となり確実なクロージングに注力。

(単位：百万円)	2024/2月期	2025/2月期	前年比増減	
	実績	予想		%
売上高	22,903	23,500	596	2.6%
営業利益	1,270	1,100	△ 170	△13.4%
経常利益	1,285	1,100	△ 185	△14.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	764	770	5	0.7%
一株純利益 (円)	45.46	45.76	0.30	0.7%

配当予想サマリー

- 当年度においても、長期的に安定した配当を維持していくことを基本方針とし、2025年2月期は創立60周年記念配当を予定。
- 東京証券取引所から要請されている「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」は、2025年2月期 決算発表時に公表予定。



(注) 2023年2月期の連結配当性向については、親会社株主に帰属する当期純損失を計上しているため記載しておりません。
 2016年3月1日付けで株式分割1対2を実施しており、2016年2月期以前の配当金は分割調整後の金額です。
 記念配当については、2017年2月期は上場20周年記念配当を、2025年2月期予想は創立60周年記念配当を示します。

フロイント産業株式会社

経営企画部



<https://www.freund.co.jp>



ir@freund.co.jp



本資料には当社の計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。

従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。なお、掲載内容について当社はあらゆる面から細心の注意を払っておりますが、それらには誤りやタイプミス等が含まれる可能性があります。